

講義名	観光コミュニケーションA		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

グローバル社会の進展に伴い、海外へ旅行する日本人、そして、海外から来日する外国人観光客の数は増加の一途をたどっている。また、日本における観光産業の充実を図るための諸施策も大きな課題となっている。特に、旅行・観光・ホテル・レストランサービス等の業種にあっては、英語の運用能力だけでなく、業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を持ったプロの養成が急務であり、このような能力をもつ人材への高い需要がある。本コースでは、「ツーリズムやホスピタリティビジネスなどに興味のある受講生が明確な目的を持ち、ツーリズムのプロとして必要な英語を楽しみながら学べる授業を展開する。」「英語を学ぶ」というよりも、「英語で“観光業務を学ぶ”」という姿勢で取り組んで欲しい。

**到達目標**

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

- (1) 「旅行業」「航空業」「ホテル業」といった観光産業に必要な英語表現を習得する。
- (2) 観光コミュニケーションに必要なリスニング・スピーキング・リーディングのスキルに加えて、観光産業の基本的な知識を学ぶ。
- (3) クラスメイトとのロールプレイ演習により、実践的な英語コミュニケーション力を養う。
- (4) 演習を通じて、文化の多様性を理解し、受容できる異文化コミュニケーション力を養う。

**提出課題**

- (1) 観光英語検定3級の用語集から、毎回1ユニットを課題とする。
- (2) その他、テキスト等からの課題。
- (1) 提出課題に関する連絡は授業中およびRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行う。課題は翌週の授業までに回収する。提出物の期限後の提出は不可。
- (2) 解答等の解説は、翌週の授業で実施する。
- (3) その他の連絡がある場合もRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行うので、毎週、チェックすること。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

観光英語検定の演習問題を解く課題では、答え合わせの際、理解が難しいと思われる英語表現について解説する。受講生が提出したワークシートの英語表現を添削指導する。

**評価の基準**

- (1) 課題 (90%)
- (2) 出席と授業態度 (10%)

**履修にあたっての注意・助言他**

この授業ではZOOMによる同時双方向型授業を実施します。受講するにはパソコン、タブレット、またはスマートフォンが必要です。90分の受講が可能のように、インターネット環境を整えておいてください。ZOOMの授業でカメラ設定をしなければ欠席と見なします。教科書を購入しているという前提で授業を実施しますので、また持っていない人は至急、購入してください。到着までの期間を考慮して、5月末ぐらいまでは教科書の資料を「講義連絡」を通じて送ります。授業中、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任と理解すること。購入した証明として到着次第、本人と本の写真を送ってください。この手続きをしない人には単位は与えられません。期限までに課題を提出する等、規則正しく、リズムのある生活を送ることが健康を保つ秘訣だと心得てください。

教科書	.English for Tourism Professionals.	Reiko Fujita	National Geographic	¥2,400	978-4-86312-356-4

**プリント資料及び参考文献**

観光英語検定の課題、テキストの内容を理解するための補助教材としてワークシートを「レポート登録」や「講義連絡」を通じて送る。

**授業計画**

回	授業計画
1	Course Guidance
2	Unit 1 Recommending a Tour (1)
3	Unit 1 Recommending a Tour (2)
4	Unit 2 Taking a Tour Booking (1)
5	Unit 2 Taking a Tour Booking (2)
6	Unit 3 Escorting a Tour (1)
7	Unit 3 Escorting a Tour (2)
8	Unit 4 Welcoming International Tourists (1)
9	Unit 4 Welcoming International Tourists (2)
10	Unit 5 Taking an Airline Reservation (1)
11	Unit 5 Taking an Airline Reservation (2)
12	Unit 6 Giving Flight Information (1)
13	Unit 6 Giving Flight Information (2)
14	Unit 7 Helping Passengers Check in (1)
15	Unit 7 Helping Passengers Check in (2)

\* 毎回の授業内容は進捗状況により、次週に持ち越すことがある。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

	ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	エ：グループワーク
<input type="radio"/>	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：観光英語検定の課題やテキストの補助教材として担当者が作成したワークシート、教科書の演習問題に取り組む、（2時間）  
復習：その日に学習した内容の復習（ワークシートの添削箇所の確認、テキスト内容のリスニング、会話文やリーディングセクションの音読を含む）（2時間）

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

この授業ではZOOMによる同時双方向型授業を実施します。パワーポイントやその他、学習に必要な資料および音声を受講生との共有画面を通して共有しながら、教員－学生、学生間による双方向型の授業を実施します。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

授業運営に関する詳細は「講義連絡」に掲載済みです。まだ、見ていない人は必ずチェックしておいてください。難しい状況ではありますが、お互いに協力しあって、良い授業になるよう努めましょう。